

F Mモードで交信する方法（超初心者向け）

JARL 宮城県支部

【交信に入る前に】

F Mでの交信は呼出周波数でCQまたは相手を呼出し、呼出周波数以外の交信していない周波数に移り交信するのが主流のようです。

F Mモードで交信（QS0）できる周波数は、「広帯域の電話・電信・画像」の所だけです。

【注意】F Mモードは占有周波数幅が広いので、使用区分帯の端で運用した場合、占有周波数幅の半分がはみ出します。したがって使用区分帯の上端と下端は避けて運用します。

アマチュアバンド使用区分では144MHz帯：144.70～145.65MHzですが、144.72～145.64MHzで、また、430MHz帯：431.40～434.00MHzですが、431.42～431.88と432.12～433.98MHzで運用します。ただし、434.00～435.00と439.00～450.00MHzはレピータ専用です。

（詳細はアマチュアバンド使用区分を御覧下さい）

はじめに「取説」を見て慣れましょう

送信する場合は、「PTTスイッチ」を押します。無線機の横、またはマイクの送信ボタン。

・PTTスイッチを押している間は送信しています。手を離せば「受信」に戻ります。

無線は一方通行ですので送信中は、相手の音声は聞こえません。

（相手が送信中に送信しても相手には聞こえません）

・呼出周波数はメインチャン（メインチャンネル）と言います。

・普通に交信している所はサブチャン（サブチャンネル）と言います。

・「Call」のボタンを押すたびに、メインチャン サブチャン メインチャンに移動します。

・FMで弱い信号を受信する場合相手の音声途切れします。スケルチを開くと音声は途切れません。

スタンドマイク等にはPTTスイッチが2カ所あります。ロックされる側の押しばなしに注意して下さい。

送信しっぱなしになり、他の方の迷惑になります。また、無線機の寿命も縮めます。

特に車での運用、子供の悪戯、本等の落下物 時々チェックし、無線機から離れる時はSWを切る。

交信にあたって

・コールサインは、アルファ、ベータ、チャーリー・・・と言う「フォネチックコード」を使います。「A」～「Z」まで言えるように練習していきます。

・住所や名前は、朝日のア、イロハのイ、上野のウ・・・のように「和文通話表」を使います。

「あ」～「ん」まで言えるように訓練して下さい。最低でも名前、住所は暗記して言えるようにします。

・アマチュア無線では、初めに相手のコールサインを次に自分のコールサインを言います

・一回の交信で必ず相手と自局のコールサインを送信するようにしましょう（ブレイクの場合は除く）

・住所はJCC / JCGナンバーで送る場合があります（参照 アワードのページで市や郡番号を調べて下さい）

〔例〕宮城県のナンバーは06、登米市は0613、宮城野区は060102、加美郡は06004です。

・間違いやすい文字は区別して、はっきり書いて下さい。ゼロには0に斜線を入れる。

〔例〕A H、I 1、Z 2、D 0 0、I J、J T、O Q、U V、L C・・・など

・個人差がありますが、最初はCQに回答し、10局くらい交信し、慣れてからCQを出した方が良いと思います。また、交信が終わった局にコールして見て下さい。喜んで？回答してくれるかもしれません。

SSBやCWでの運用では、ほとんどこの方法です。

・コンテストに参加しましょう。（コンテストナンバーはコンテスト規約で調べて下さい）

RS + コンテストナンバー〔例えば、宮城県刈田郡の場合〕は5906003です。

送信内容が非常に簡単で交信時間が短く、同じ内容を繰り返しています。QSLカードも発行して戴けます。

・初めはメモ帳を用意しましょう。〔コールサイン、明瞭度・信号強度（RS）、日時、住所、名前、備考を書き〕終了後はログ帳（記録簿：紙ログやHAMLOG：電子ログ）に記入します。

・HAMLOGは無料ソフトで日本で良く使われています。JCCやJCG等市区町村名の記入、自局のQSLカード印刷、アワード等の管理に大変便利です。

・移動して運用する時には、JA7RL / 7のようにコールサインの後に 移動と言います。

FM モードで自局がCQを出して交信する場合の一例

メインチャンでCQまたは相手呼び出し、交信していない周波数(ch)サブに移り交信します
以下の文章では次のことが省略して言います。

送信時は「PTTスイッチ」を押し続けます。

メインチャン：メインに省略します。

受信時は「PTTスイッチ」から手を離します。

サブチャン：サブに省略します。

CQを出す準備をします。

A のイタリックの部分を読みます。

空いている周波数を探します(「サブを探す」とも言います)

FMの場合「スケルチを開いて「ザー」のノイズが出る」弱い局がないか確認します。

A-1 メインチャンで「Callボタン」を押し、サブに移り交信していない周波数(ch)で短く「チャンネルチェック?」と「送信」し、すぐに「受信」します。

声が聞こえたり、「使ってます」と言われたら別のチャンネルを探します。

返事がなければ使用可能ですので、2~3回繰り返します。

今度は一寸長く「チャンネルチェック、混信妨害など与えておりませんか?」と言って「受信」します。

返事がなく使っていないことを確認します。(周波数を記憶)

サブチャンが見つかりました、CQを出しましょう。()内は送信しなくても良いです。

送信の時は「マイクのPTTスイッチ」を押し、受信の時は「マイクのPTTスイッチ」から手を離します。

A-2 「Callボタン」を押し、メインチャンに戻り「CQ」を出します。

《CQ CQ CQ こちらはジュリエット セブン _____、J 7 _____、J 7 _____、次回、145. ** (記憶した周波数) で再度コールいたします。(各局QSOよろしくお願ひします)》
と言った後、受信し、速やかに「Callボタン」を押して「サブチャン」に移ります。

・再度長めに送信「チャンネルチェック」と言って「受信」します。〔2~3回繰り返した方が良い〕
返事がなければ「送信」します。

CQ CQ CQ こちらはジュリエット セブン _____、J 7 _____、J 7 _____ QSOよろしくお願ひします。
と言って「受信」します。

応答されますので相手のコールサインと時間〔信号強度〕を「メモ帳」に記入します。

B-1 J 7 _____ こちらは「ジュリエット アルファール セブン レディオ リマ」どうぞ

応答(コール)されたので返答しましょう。

A-3 メモ帳に書いた相手のコールサイン「JA7RL」と「信号強度」(次回でも可)を「送信」します。

・ジュリエット アルファール セブン レディオ リマ こちらはジュリエット セブン _____ 応答有難うございます。

・「59」です。名前は _____ で、住所は _____ です。

・JA7RL こちらはJ 7 _____ どうぞ。 と言って「受信」します。

相手が「明瞭度・信号強度(RS)、名前、住所」を話しますのでメモ帳に書きましょう。

B-2 J 7 _____ こちらはJA7RL

・ _____ さん、 _____ から59有り難うござます。

・57で仙台市泉区にきています。QRA(名前)は桜のサ、東京のト、上野のウ佐藤です。

・J 7 _____ こちらはJA7RLどうぞ

A-4 JA7RL こちらはJ 7 _____

(メモ帳を見ながら書き取ったレポートを読みます)

・佐藤さん泉区から57有り難うございます。

・QSLカード(交信証)はJARLビューローでご交換願えませんか?

・ここからは適当なお話をして下さい。

〔例えば〕無線機、アンテナ。天気、温度。趣味、旅行など。

(話に困ったら「今日はショートで失礼します」と言って終了に持ち込む)

・JA7RL こちらはJ 7 _____ どうぞ

B-3] J 7 _____ こちらは J A 7 R L

- ・ _____ さん Q S L カードはビューローに送ります。
- ・ J 7 _____ こちらは J A 7 R L どうぞ

A - 5] J A 7 R L こちらは J 7

- ・ 佐藤さん、カードビューロー了解です。
- ・ 1st Q S O 有り難うございました。またよろしく願いいたします。
- ・ J A 7 R L こちらは J 7 _____ 7 3 さようなら

B-4] J 7 _____ こちらは J A 7 R L

- ・ 今日 F B な 1st Q S O 有り難うございました。また、よろしく願いいたします。
- ・ J A 7 R L こちらは J 7 _____ 7 3 さようなら

〔お疲れ様でした。その調子でもう一回頑張りましょう〕

無線を長く続けるには

- ・ 目標を見つけましょう (特に F M だけで運用しているとあきてしまいます)
H F や 5 0 M H z (他のエリアや D X ととも通信可能) にも出てみる。
移動してみましょう (家からでは通信範囲が限られます、山の上は良く飛びます)
アワードにも挑戦しましょう (4 3 0 M H z の 1 0 0 交信賞や、1 0 0 市交信賞、1 0 0 郡交信賞等)
〔宮城県支部発行のアワードには全市区町村交信賞、全市郡交信賞などがあります〕
アンテナ作り、周辺機器作りをしてみましょう。
- ・ 慣れてきたら大いに C Q を出しましょう (ハムフレンドが増えます)
- ・ 無線の行事やクラブ等にも顔を出してみましょう。
集いや講習会に参加して情報や無線グッズ (中古の無線機も安く買えるかも?) を手に入れましょう。
- ・ 8 J や 8 N から始まるプリフィックスは「日本の記念局」です。その時だけの局ですので交信しましょう。
レピータ使用の交信方法 (ハンディー機でも広いエリアと通信できます)
使用したいレピータの周波数を調べます。
(最近の無線機はレピータ周波数に合わせれば自動的にセットされます)
〔例えば〕 439.72 M H z : 仙台市青葉区東一番町。宮城県内の広域からほぼ使用可能です。
439.72 M H z で P T T スイッチを一寸押し、受信します。モールの I D ができます。
I D 終了後に P T T スイッチを押し、相手を出呼 (応答) します。
レピータは応答がない場合は約 1 0 秒で自動的に停止します。独占や長時間の占有を防止するため、約 3 分間で自動的に遮断されます。継続して Q S O したい場合には、3 分になる前に送信を中止し、レピータが止まってから再度初めからやり直します。

アマチュア無線で良く使われる用語 (使わなくても良いです)

< わからない用語は相手から聞いて下さい >

QRA : 名前 QTH : 住所 QSL : QSL カード、確認した QSP : 伝える
QRT : 送信を止める (無線を中止していた) QSY : 移る [他の Q 符号は自分で調べて下さい]
CM : 仕事 リグ (RIG) : 無線機 ツーメーター (2 m) : 144 MHz よんさんまる : 430 MHz
ANT : アンテナ **エレ : **エレメント八木アンテナ パラ : 平行に並べる
スタック : 2 段重ね ホイップ : 細い棒状アンテナ SWR : アンテナのマッチング (VSWR)
ストローク、バイ 7 : 移動運用、東北移動 XYL : 奥様 (X や ツートトツとも言う)
アワード : 賞状 (AJD : 日本の全アリア) 島根 : QSL カードの送先 FB : 良い
BF : 悪い (日本だけ、NG が正式) アル変 : アルコール変調
JCC : 市ナンバー (名取市 : 0607) JCG : 郡ナンバー (宮城郡 : 06013)
ブレイク : 交信の途中に割り込む。電話等で中断、又は交信を終わりにしたい
バックブレイク : 家族等から食事等で呼ばれている。 たぬき : 人の交信を黙って聞く (ワッチ)
ラグチュウ : 交信をのんびりと長々で行う ファイナル : 交信終了、または無線機の終段管
U (Uゾーン) : 旧ソビエト W : アメリカ J A : 日本